

ピカソの情熱が
佐賀を魅了する。

Pablo Picasso



銃士とアモール 1969年 ©2016-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

ピカソ展

ルートヴィヒ・コレクション



2016

6.3 金 - 7.17 日

佐賀県立美術館

9:30~18:00(入場は17:30まで)
※月曜休館

■当日券 1200円
■前売り 1000円

※高校生以下無料 ※障害者手帳保持者
およびその介助者1名無料 ※20名以上の
団体、博美メール会員、Begin会員、サガン
鳥栖ドリームバス会員は前売料金

■主催：ピカソ展実行委員会
[佐賀県立美術館、佐賀新聞社、サガテレビ]

■後援：ドイツ連邦共和国総領事館

■企画協力：ホワイトインターナショナル

■問い合わせ：ピカソ展実行委員会事務局
(佐賀新聞社事業部内) ☎0952-28-2151
(9:30~17:30 平日のみ)

ピカソ展

ルートヴィヒ・コレクション

パブロ・ピカソは20世紀美術の巨匠として、今なお多大な人気と影響力を誇る芸術家です。1881年にスペイン・マラガに生まれたピカソは、1973年、91歳でフランス南部のムーランで亡くなるまで、旺盛な探求心と好奇心を持ち続け、「青の時代」「バラ色の時代」「キュビスムの時代」「新古典主義の時代」等様々な様式を生み出しました。ピカソは多作でも知られ、油彩や素描、版画、彫刻、陶器等10万点以上の作品を制作したといわれています。

ドイツ・ケルン市のルートヴィヒ美術館は、ルートヴィヒ夫妻によって収集・寄贈された世界最大級のピカソ・コレクションを有することで知られています。それらは、ピカソの広範な芸術を、初期から晩年に至るまで包括的に捉えた貴重なものです。

佐賀初の本格的なピカソ展となる本展では、ルートヴィヒ美術館が収蔵するピカソの油彩、版画・ブロンズ、陶器、マン・レイら著名な写真家によるピカソのポートレートを中心に、国内収蔵の作品を加えた約120点をご紹介します。多彩な作品と、ポートレートに写しだされたエネルギッシュな姿を通じて、「天才」ピカソの魅力を感じてください。



手を組んだアルルカン 1923年
©2016-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)

PABLO PICASSO



ボバイのようなピカソ、カンヌ、1957年
1957年 アンドレ・ヴィレル
By Courtesy of Succession Picasso, Paris & SPDA, Tokyo 2016
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 E2143



毛皮の襟のオルガの肖像 1923年
©2016-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)



頬杖をついている顔の水差し 1952年
©2016-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)



パブロ・ピカソ、1933 1933年
By Courtesy of Succession Picasso, Paris & SPDA, Tokyo 2016

《関連イベント》

◆博物館・美術館セミナー「ピカソあれこれ」

【日時】6月18日(土) 13:30~15:00 【会場】美術館2階画廊

【講師】岩永 亜季(佐賀県立美術館学芸員)

【概要】ピカソ作品や芸術の見どころについて、わかりやすくお話しします。

◆「あらかしコンサート」

【日時】7月1日(金) 19:00~20:00

【会場】博物館アラカシ広場(予定) ※雨天時は博物館エントランスで開催予定

【概要】ピカソの故郷・スペインの民族音楽舞踊、フラメンコのコンサートを開催します。

参加費・
予約不要

▶チケットのお求めは

佐賀県立博物館、佐賀新聞社、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード767-573)、
ローソンチケット(Lコード83139)ほか佐賀市内主要プレイガイドにて

▶展覧会についてのお問い合わせは

ピカソ展実行委員会(佐賀新聞社事業部内) ☎0952-28-2151
(9:30~17:30 平日のみ)



佐賀市城内1丁目15-23 ☎0952-24-3947

◆JR佐賀駅から南へ2.2km(徒歩約30分) ◆佐賀
駅バスセンターから[市営バス]①番のりば「佐賀
空港」か、③番のりば「平松循環」、「広江・和崎」で
「博物館前」下車、徒歩1分 [市営・昭和・祐徳バ
ス]「県庁前」下車、南へ600m(徒歩約10分) ◆佐
賀空港から[市営バス]「博物館前」下車、徒歩1分